

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、市民の皆さんにお届けします。
＜掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。＞



▲社会を明るくする運動東松島市推進委員会



▲イエローライトアップ



JR陸前赤井駅前の啓発活動

犯罪や非行防止と、立ち直りを推進

7月は社会を明るくする運動 強化月間で啓発

犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生支援に地域で取り組む「社会を明るくする運動」の強化月間(7月)に合わせて、第76回“社会を明るくする運動”東松島市推進委員会と市内での啓発活動が行われました。

推進委員会では、内閣総理大臣からのメッセージ伝達があったほか、犯罪等の防止や立ち直りを地域全体で支えていくことを推進するため、関係団体による協議が行われました。

啓発活動では、JR陸前赤井、東矢本、矢本、陸前小野、野蒜、東名の各駅で、社会を明るくする運動東松島市推進委員会の会員の皆さんが、通勤通学中の市民の皆さんに啓発用ポケットティッシュを手渡し、周知に努めました。また、夜は道の駅東松島に展示しているモニュメントとブルーインパルスを、同運動のシンボルカラーである黄色にライトアップしました。

(7月1日)

重要水防箇所を巡視



局地的大雨災害に備え

北上川下流河川事務所と東松島市、同消防団、県東部土木事務所などによる重要水防箇所合同巡視が1級河川の鳴瀬川堤防周辺で行われました。関係者約30人が出水期を前に河川整備の状況や堤防の低い部分を目視確認し、局地的大雨など災害時の対応を情報共有しました。
(6月30日、鳴瀬川周辺)

優良工事 7社9件を表彰

技術管理面で模範的に



東松島市優良工事表彰式を開催し、昨年度に完成した発注金額500万円以上の各種工事計25件中、特に優良な工事を施された7社9件を表彰しました。式辞で渥美市長は「建設業は地域にとってなくてはならない存在です。今後もぜひ頑張ってください」と激励し、各社の代表者へ表彰状を手渡しました。

(6月29日、市役所)

大槌町林野 火災被災地に義援金



庁舎内に募金箱
野蒜まちづくり協議会も善意託す

4月22日に岩手県大槌町で発生した林野火災を受け、本市は被災地の一日も早い復旧・復興を願って、庁舎内に募金箱を設置しました。8月31日まで募金を受け付け、集まった善意は義援金として日本赤十字社を通して被災地に送ります。市内の個人団体からも個別に善意が届けられており、6月4日には野蒜まちづくり協議会から10万円を預かりました。



東松島市前教育長
志小田さんが受賞

令和元年5月から6年間、東松島市教育委員会教育長を務めた志小田美弘さんが、全国市町村教育委員会連合会の功労者表彰を受け、市役所で伝達式がありました。志小田さんは児童生徒の健康維持と教育充実を両立させながら、小中連携事業の充実やコミュニティ・スクールの連携強化に尽力しました。志小田さんは「皆さんの支えのおかげ。今後もできることで地域に貢献していきます」と話していました。

(6月29日)

全国市町村教委連合会
功労者表彰



リサイクルや 環境保全の重要性学ぶ

小学校でSDGs出前授業

持続可能な開発目標(SDGs)について知識と理解を深める出前授業を、東北大学国際文化研究科からの全面協力を得て、市内各校で行いました。このうち大曲小学校では、4年生50人が参加し、資源のリサイクルや食の安全、環境保全などを紹介する5つのブースを回りました。子どもたちは、廃タイヤが石炭や石油などの代替燃料になることなどを学び、環境保全のために「自分たちができること」をそれぞれ考えていました。(6月22日)

フラワーロードでまちに彩りを

東松島・植栽事業

市内各地域で、環境美化と住民の交流を図る「花の香るまちづくり事業」として、サルビアやマリーゴールドなど約3万7千株の植栽が行われました。植栽活動や管理には、市が自治協議会に交付している補助金が活用されています。



大曲地域 (5月31日)



矢本東地域 (5月31日)



赤井地域 (6月1日)



宮戸地域 (6月6日)



小野地域 (6月7日)



矢本西地域 (6月7日)



大塩地域 (6月15日)



野蒜地域 (6月19日)

読売さわやか野球教室

読売新聞東京本社・宮城県読売会主催の「読売さわやか野球教室」が開かれました。東松島リトルシニアのほか、石巻、石巻中央、登米、利府の県北5チーム計110人が参加し、歴代巨人軍を支えた鹿取投手、西山捕手、駒田内野手の3選手から走塁のポイントなどを学びました。(7月5日、鷹来の森運動公園)



▲東松島リトルシニアとの記念撮影

往年の名選手が指導

友好都市東根市から サクランボ42kg寄贈



子どもたちもニコリ笑顔

サクランボ生産量日本一を誇る友好都市の山形県東根市から、今年も特産の「佐藤錦」計42kgが本市の子どもたちに贈られました。サクランボは市内の幼稚園や保育所など14施設に配られ、贈呈式は矢本東保育所で実施。東根市の岡田光弘総務部長と青柳昇経済部長から、代表児童にサクランボがずっしり入ったかごが手渡されました。子どもたちは給食の時間に合わせて食べ、「甘酸っぱくておいしい」と笑顔を見せていました。(6月16日)



赤井北・赤井南保育所で 最後の運動会

かけっこやおゆうぎ
がんばったよ

本年度末で閉園する赤井北保育所と赤井南保育所で、例年10月に実施している運動会を6月に開催しました。子どもたちはかけっこやお遊戯などに一生懸命に取り組み、保護者の皆さんは大きな拍手と声援で後押ししていました。(6月6日)

子ども未来サミット 東松島の児童生徒参加



デジタルメディアの
健全な使用法を考える

家庭での生活時間が増える夏休みを前に、市内の小中学生がデジタルメディアの健全な使用方法を考える「子ども未来サミット」を開催しました。スマートフォンやゲーム機などデジタルメディアの使用時間をコントロールして、空き時間を学習や読書時間に充てる行動目標「でめこん」の取組事例などを子どもたちが発表・共有し、後半は保護者も交えたディスカッションで考えを深めました。(7月4日、市コミュニティセンター)



「少年の主張」東松島市大会

最優秀賞 菅原慶人さん(矢本一中3年)
優秀賞 佐藤ゆらさん(矢本二中3年)
石巻地区大会に推薦

第21回「少年の主張」東松島市大会(同市青少年健全育成市民会議主催)が市コミュニティセンターで開かれ、市内3中学校の代表生徒8人が学校や私生活、物事の見方などさまざまなテーマを掲げ、等身大の思いを精一杯訴えました。審査の結果、最優秀賞には「将来を見つめて」と題した菅原慶人さん(矢本一中3年)、優秀賞には「AIある使い方に」と題した佐藤ゆらさん(矢本二中3年)が選ばれました。2人は9月2日に女川町生涯学習センターで開かれる石巻地区大会に東松島市代表として推薦されます。(7月6日)

インターハイでの 活躍誓う



日本ウェルネス宮城高校陸上部が表敬訪問

7月30日から滋賀県で開かれる全国高校総体(インターハイ)陸上競技に、日本ウェルネス宮城高校の男子生徒たちが出場します。出場種目は100mに谷川蓮さん(3年)、三段跳に伊藤怜遠さん(同)、4×100mリレーに谷川さん、廣野将虎さん(同)、佐々木晶斗さん(同)、斉藤颯太さん(同)。このほか、リレーの補欠として1〜2年生3人が帯同します。選手たちは全国での活躍を誓い、渥美市長は「ぜびウェルネスの名を全国で轟かせてきてください」と期待を込めました。
なお、後援会(橋本商工会長)から、大会出場の激励金が贈られました。(7月1日、市役所)